

東有抄

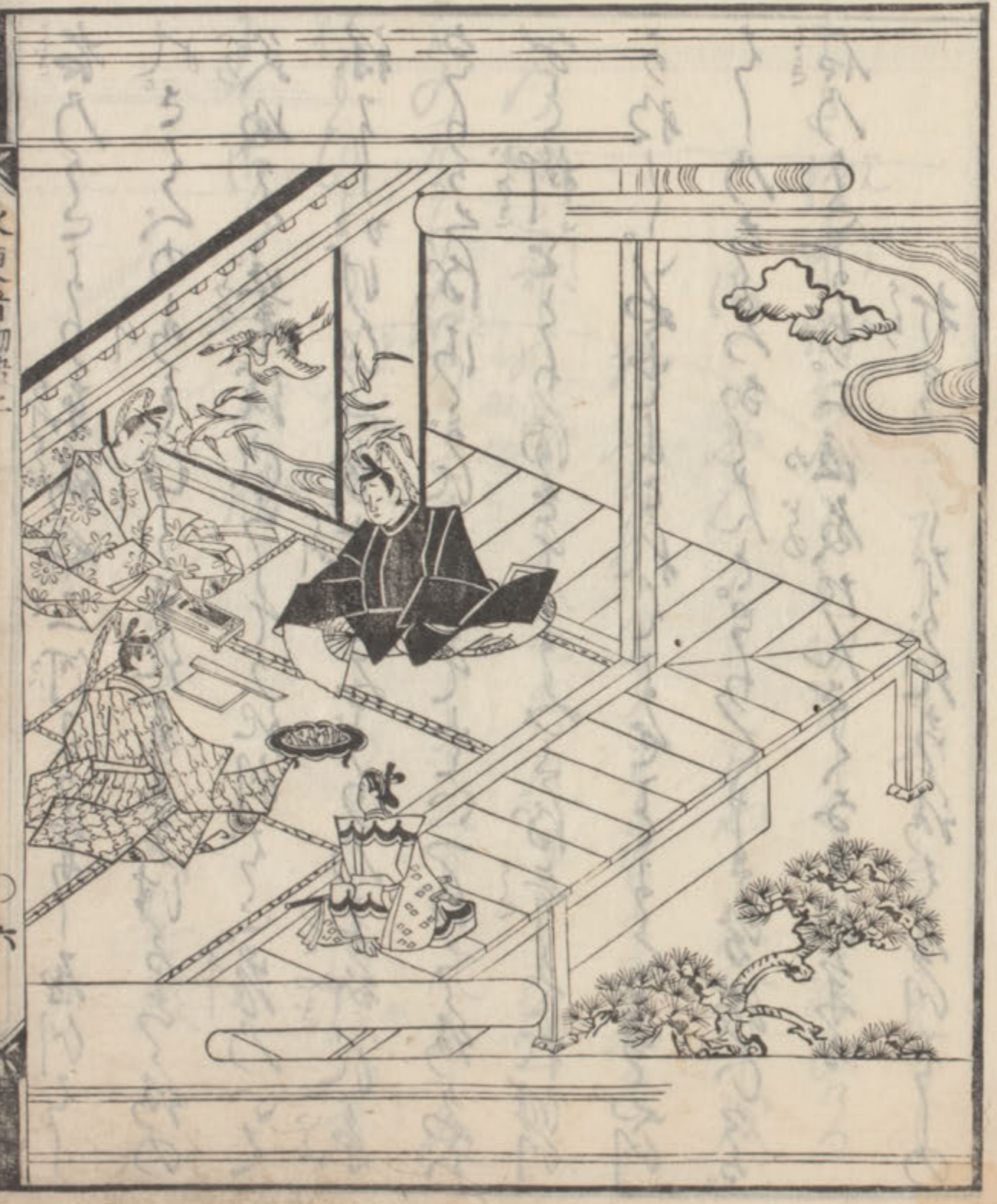


ねりさしよりおきんげつちあふぐれ地紙のま
 くともゆりいまゆちあごつゆ又ごの枝の
 まらみざりくだくえゆかふの春のあつち
 うばいこあさかなあつちごのふれまご
 やあゆととそふもゆ人れかけそぬのむ
 橋むらふらあも清うさうなるぬまや
 とあはぬよ。春の心吹くもくわうよ。暖まされる
 を。れりくぬらんしたまふ申よ。大納言友友
 行や新右衛門下に入る橋中納言國信の
 うこり

岩根に流る川の水もわらわれば
 なみぬりからふささくは春の吹
 せりからうゆあると。春もあんなさくか
 とゆふととらりううの

あさうううあ

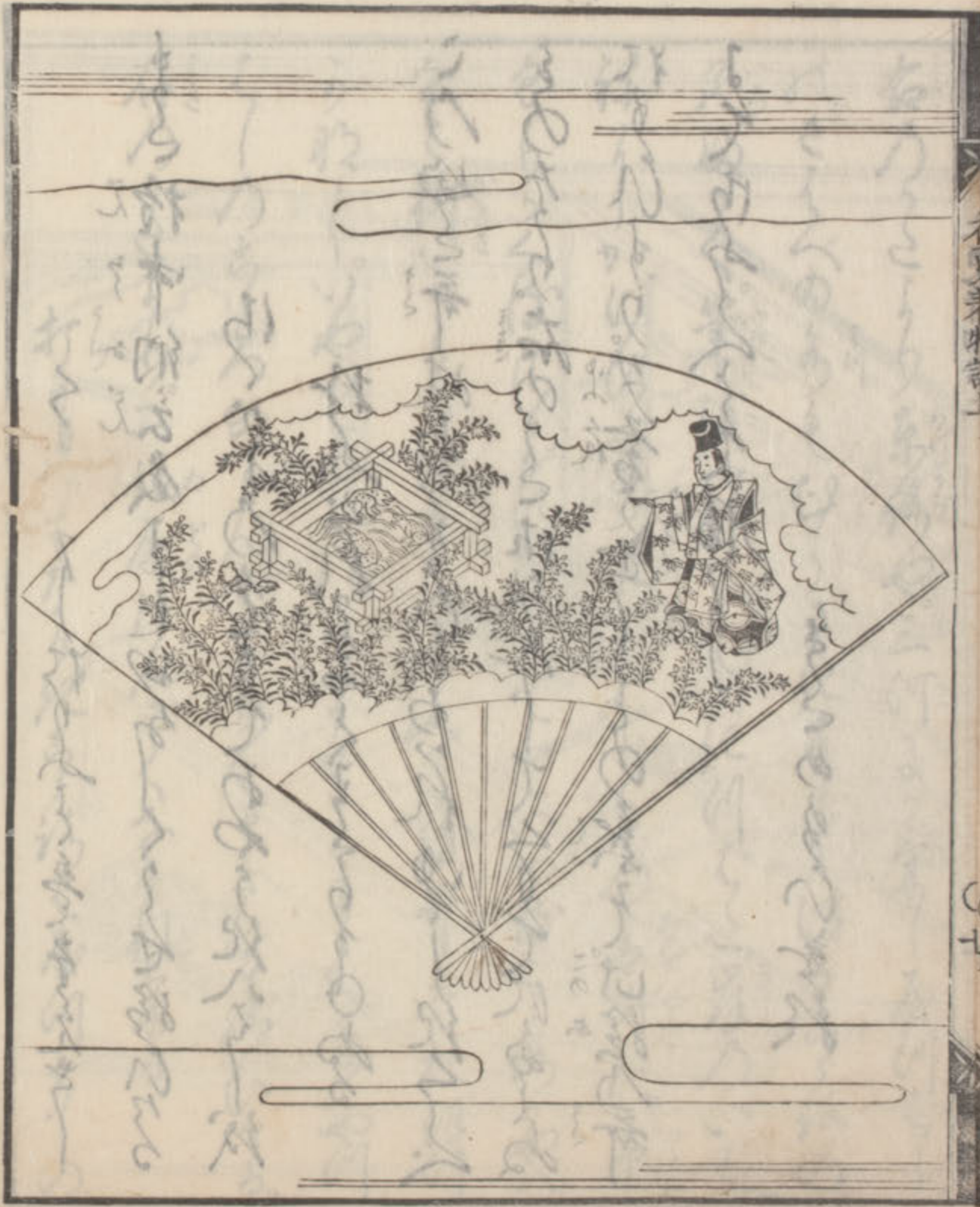
人のあつちありまふこと。みか
 うさしほがうやうあて
 のゆりまふ
 ちりあふ



右乃こころり東海也。三河より東へ尾川を
 此。ささづのあも色ひくさなり。うはるあつ海の
 又ぬく筆紙流うてく記例をさ。右乃いえ
 孫うかけひいさ。味もみどり乃青柳に。糸
 をりうらふらぐんか。うてせいつはら海も六
 かと柳ととり海をて。よみさ海并をれ海川
 の物く。いわけよこれんよせともく。あつ海川
 ちしりあつあつんと。ごりくやう海海ひるる。
 右乃こころり。二位殿たんとくさされなる
 打見く。いなが記あつ海も海川をうの

ころりてり。わりのよとををえんてり
 まさ。控中納言殿も。あつくくうせ海ひるる
 けくふ乃名りてあわう記八う。紙
 控ふられ。あつあつとらう。のあつ
 こり海と并れあつあつひい。あつれゆ。一記く
 ものなうり。右のこころり。うて。うて。いあつあ
 ねもひ。うら。うら。あつあつ。のあつ。うて。いあつあ
 まく。あつあつ。うて。勝り

ささづのあも色ひくさなり



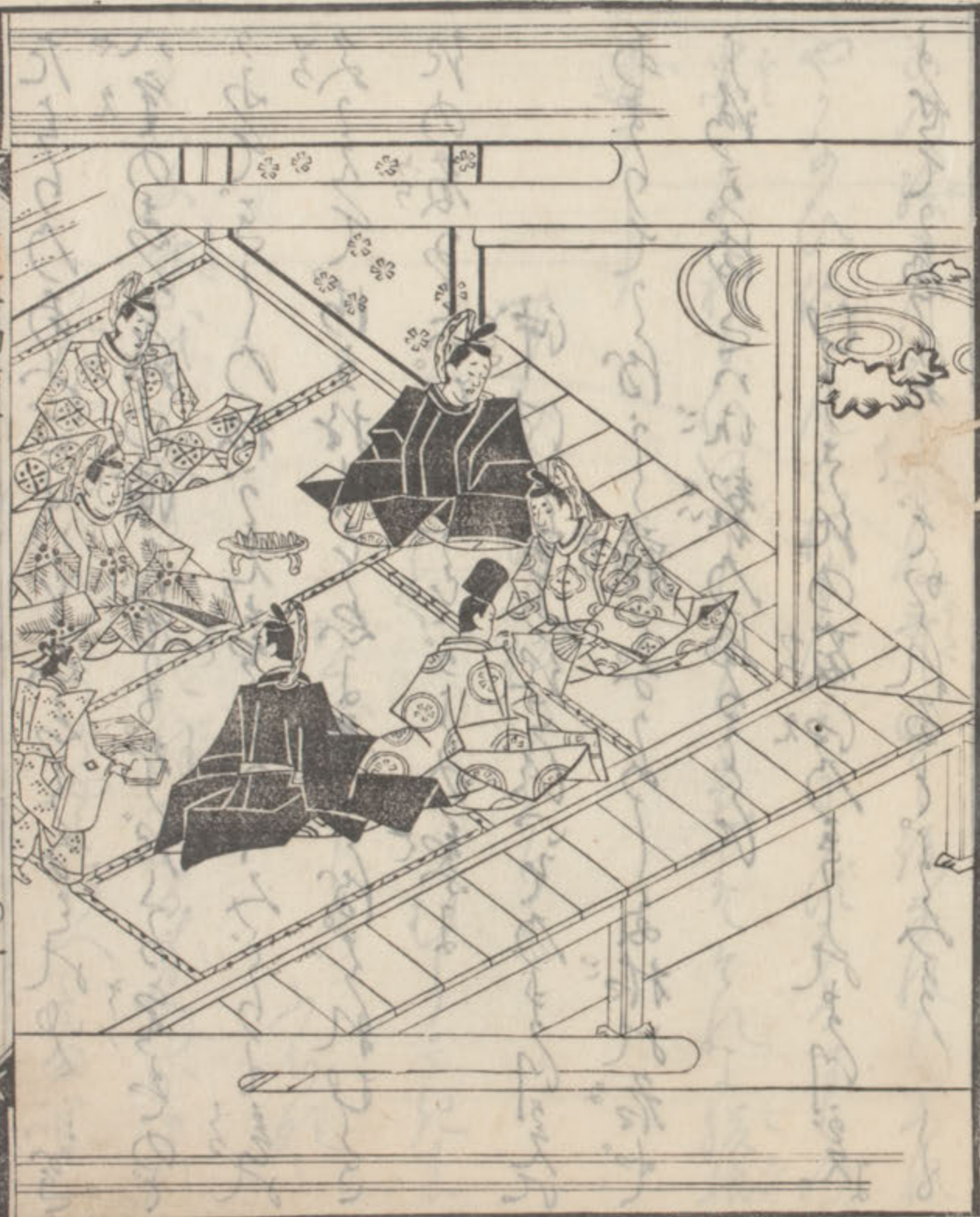
右乃こころ出されし。これ先もまのこころ
こころまのこころのげゆふ。野中乃井どに
かくのこころ。こころあられとこころ人れし。こ
ぞろのこころまのこころ。野中乃井どに
こころまのこころ。こころあられとこころ人れし。こ
ぞろのこころまのこころ。野中乃井どに
こころまのこころ。こころあられとこころ人れし。こ

山吹のこころ咲もさりかたのこころ

かぞの里人しわざも海とこころのこころ
とそだんさくとなされくる。あつたのこころ
かこころのこころ。こころあられとこころ人れし。こ

こころまのこころ。こころあられとこころ人れし。こ

こころまのこころ。こころあられとこころ人れし。こ
ぞろのこころまのこころ。野中乃井どに
こころまのこころ。こころあられとこころ人れし。こ
ぞろのこころまのこころ。野中乃井どに
こころまのこころ。こころあられとこころ人れし。こ



たらりのあひざよひとあふりあふれゆくまじり
 八重のあひぢの浦の浦もなだりつらつらとこのど
 つあてさしきの松うえきもあくみどりもまじり
 交りえてはうねくとあよふはふれむこと
 此の夜あまのひぢやとてうらのまよ

仲はくせり此にひつきのまじりえに

あまりてはうねとあふりあふれむこと
 けうの浦とてはれむこと

ひつきの夜はうねとあふりあふれむこと
 うせりてはうねとあふりあふれむこと

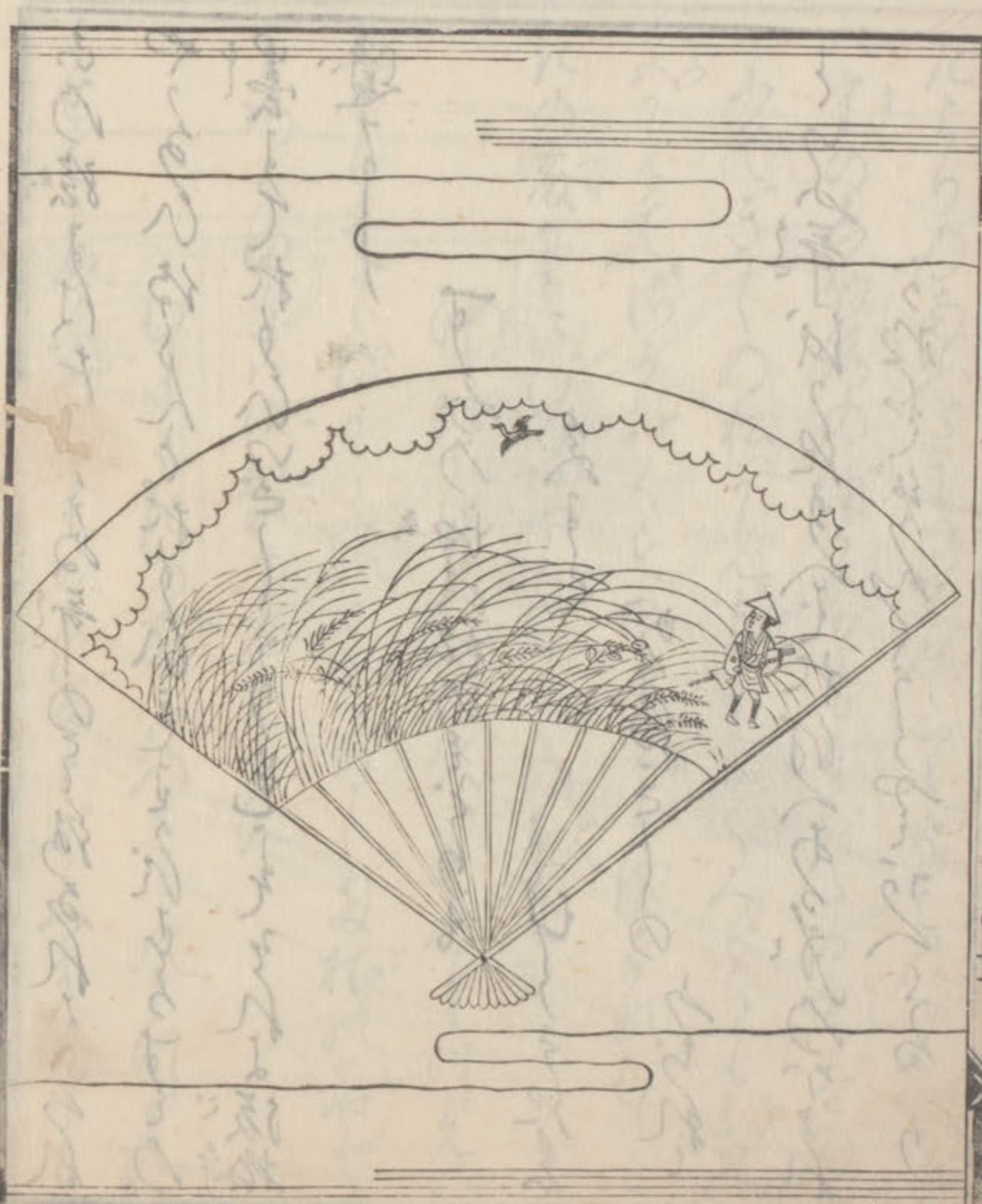
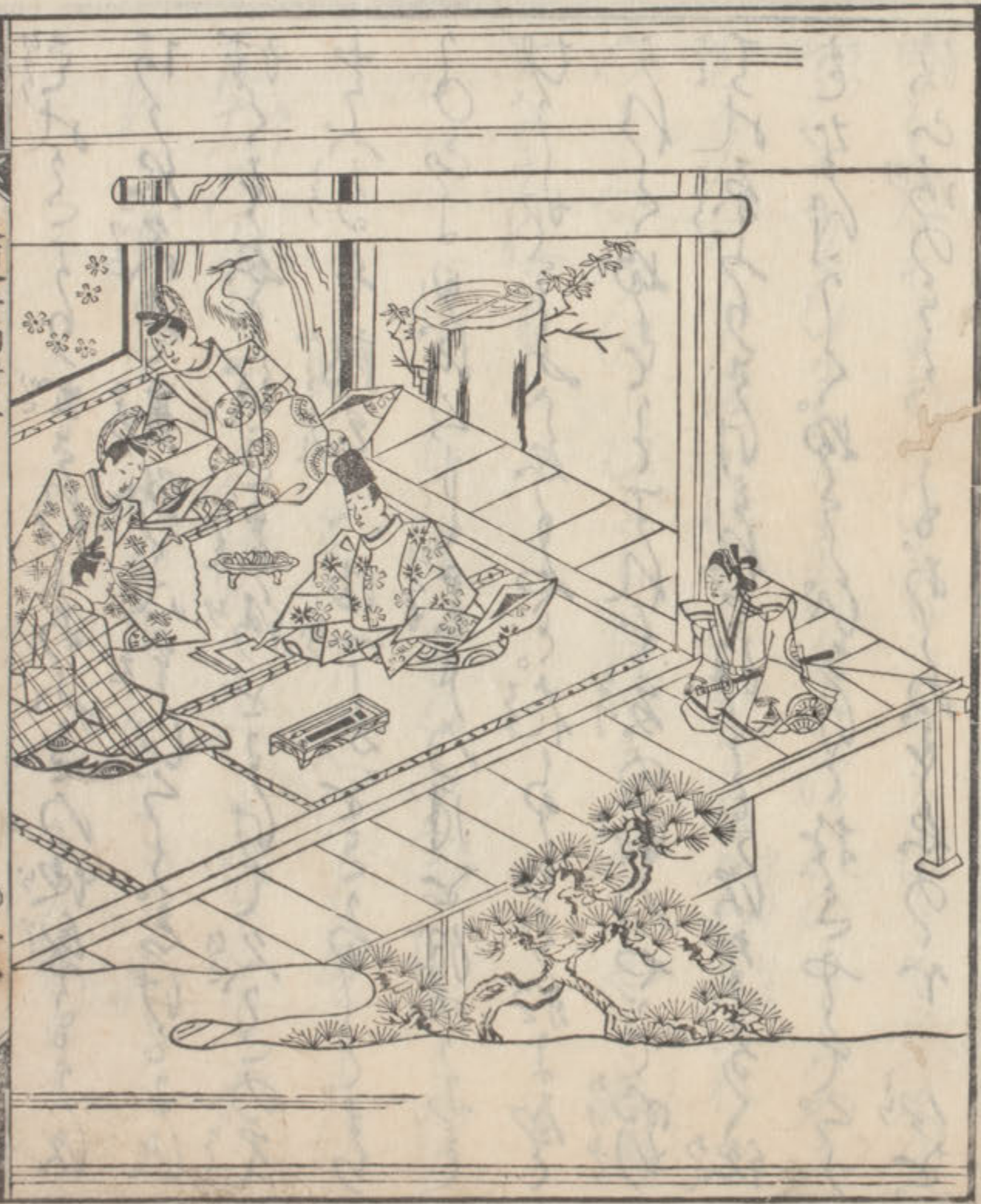
あつ強はたはぬ新のうねあれむこと
 やあひゆるとたはひきとてはむこと
 雲とてれむこと
 遺り

すみりね松のまじり

あまのひぢ

かたはりの
 けられ

とりあひぢの浦の浦もなだりつらつらとこのど
 うねとあふりあふれむこと

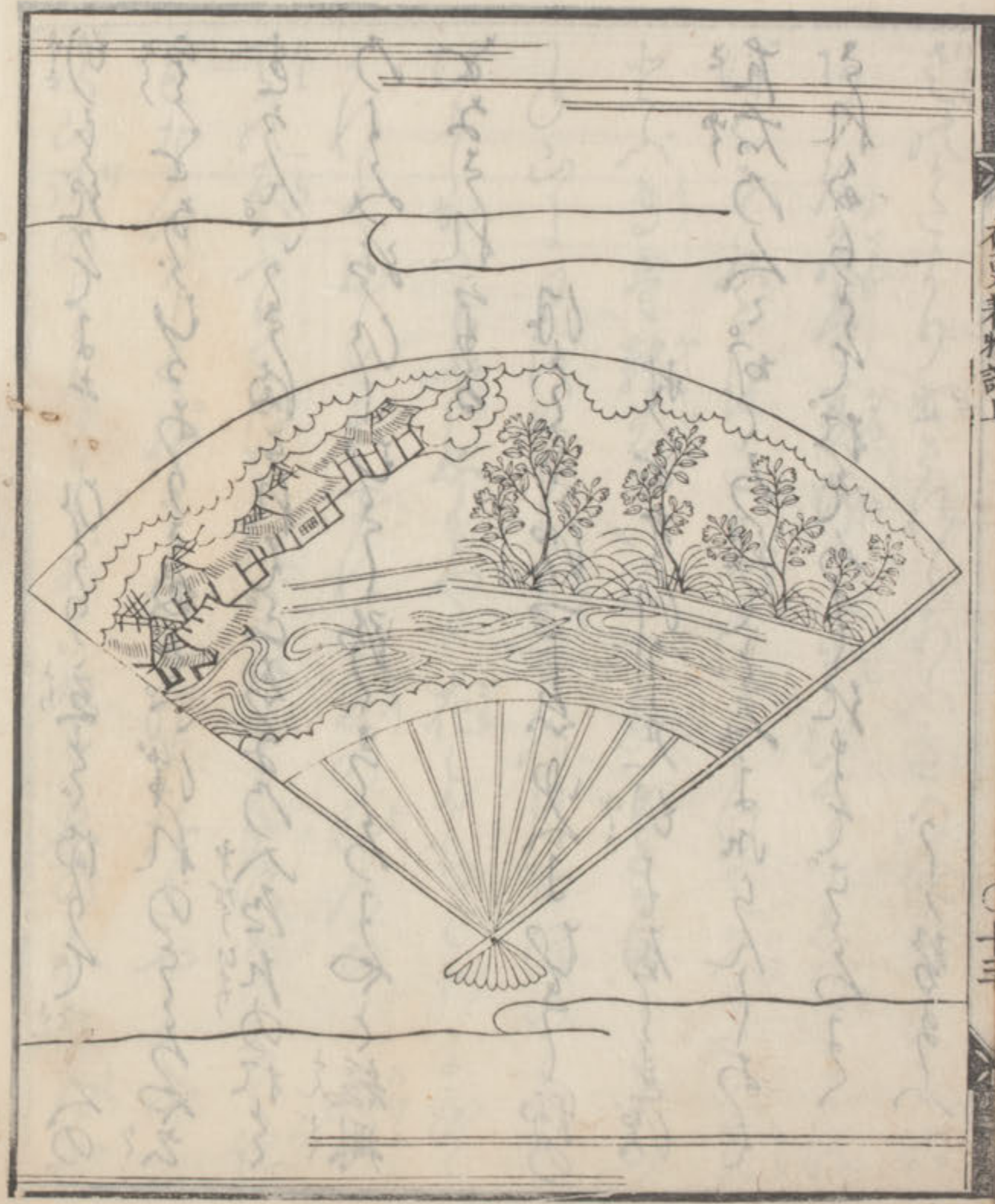


さいらうさうりおさね。あふさの地身ぢみもうは
 けうた。久き夏なつ跡あとハえまじぐ。まげともは
 げくともおとけさ。まほとまけて久ひさこのえ
 ちふまを郵かきま云いゆ一ひととさうゆと。まら
 ちのよ。日ひ成なりくし。まの月つきとほのうみ
 じしわさあふま。やと。花はなもちらむ。おま
 うねくゆま。とすれど。夜よのあつや。そめ
 ちれ系かみ。ちりまけ。これがほとまほ。なりあく
 色いろか。けうく。ゆま。びまけと。まら。やて。ら
 次つぎの海うみのまら。ま。あ。ぬ。と。おめ。の。や。そ。ま。と。

けい。と。死し。て。よ。ま。ま。ひ。ら。り。ま。ま。と。ゆ。り。て。ま。ま。の。
 ち。と。あ。ら。し。り。あ。り。ま。ぬ。ま。ま。ま。ま。の。ま。ま。ま。ま。
 ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
 の。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
 と。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。

けい。と。死し。て。よ。ま。ま。ひ。ら。り。ま。ま。と。ゆ。り。て。ま。ま。の。
 ち。と。あ。ら。し。り。あ。り。ま。ぬ。ま。ま。ま。ま。の。ま。ま。ま。ま。
 ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
 の。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
 と。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。

た。た。の。人ひと。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
 ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。



せむりれこのあふぎとてぬくもえあふげあ
まねしり。やもとく吹くせよ雲の霞し
の星月夜影をうらるるてゆくあき川も若
よあふはくれ星。あけの朝陽の卯のくれは
夏まぞとさぬあけの朝陽とぬくもてうらあけ
さゆをたしあをせんこまあ。朝の夜の
らんぎくう

ひびくう原のげともんゆら那

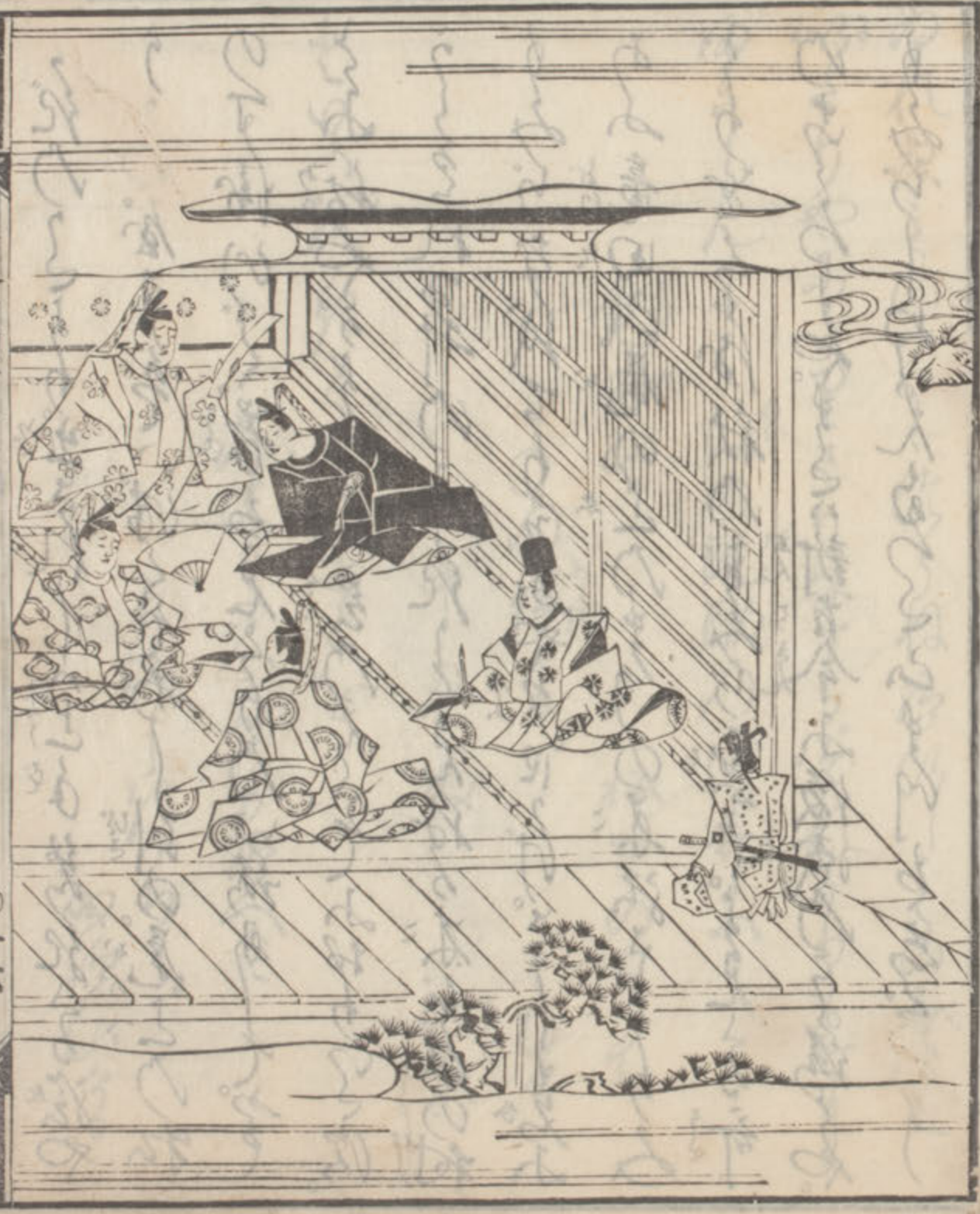
かほくの里にさううれとね

せうせゆへに。二位あからんてとすうらさふ

らぬぐー。さあてこれしは乃玉のあけりあ
づれ方玉川の里れうまねの卯れとれとれ
まひせうとが川乃右のねとれよんまひ
けふげくあひうらとてとて玉川志

里のあけんとさううれとね

せうとあけなされしに。ああたのいぬし
らんとて月のうられ里うりま。ひらあを
押り玉川よ。あけのあも。させとれてさう
ゆれとれ



うた乃こころい出されし上よ其死するは
 うつら屋よりまゝいばくぞわし引の尾とわ
 のす懐いづく昔もさえどり乃の海舟てが
 とふ秋やうらみんまうらそそふおのり
 うらこれ舟のり死しんはるまじの村
 もみらな成てりりや夕日げさしとあ
 あふ竜田の尾のさ乃まののまはさうり
 どりとらふ秋のそみらとふらんる奇
 のちらるわまの新古今よ後城乃と海と
 もみらしわんまのいふまのちまどれり

めれおそのふとけらね海ひしとの舞
 似たりやあつとつらなづらそれうらも
 海うらんよと坂の醜醜乃海舞ふ
 竜田の
 松さのうそ

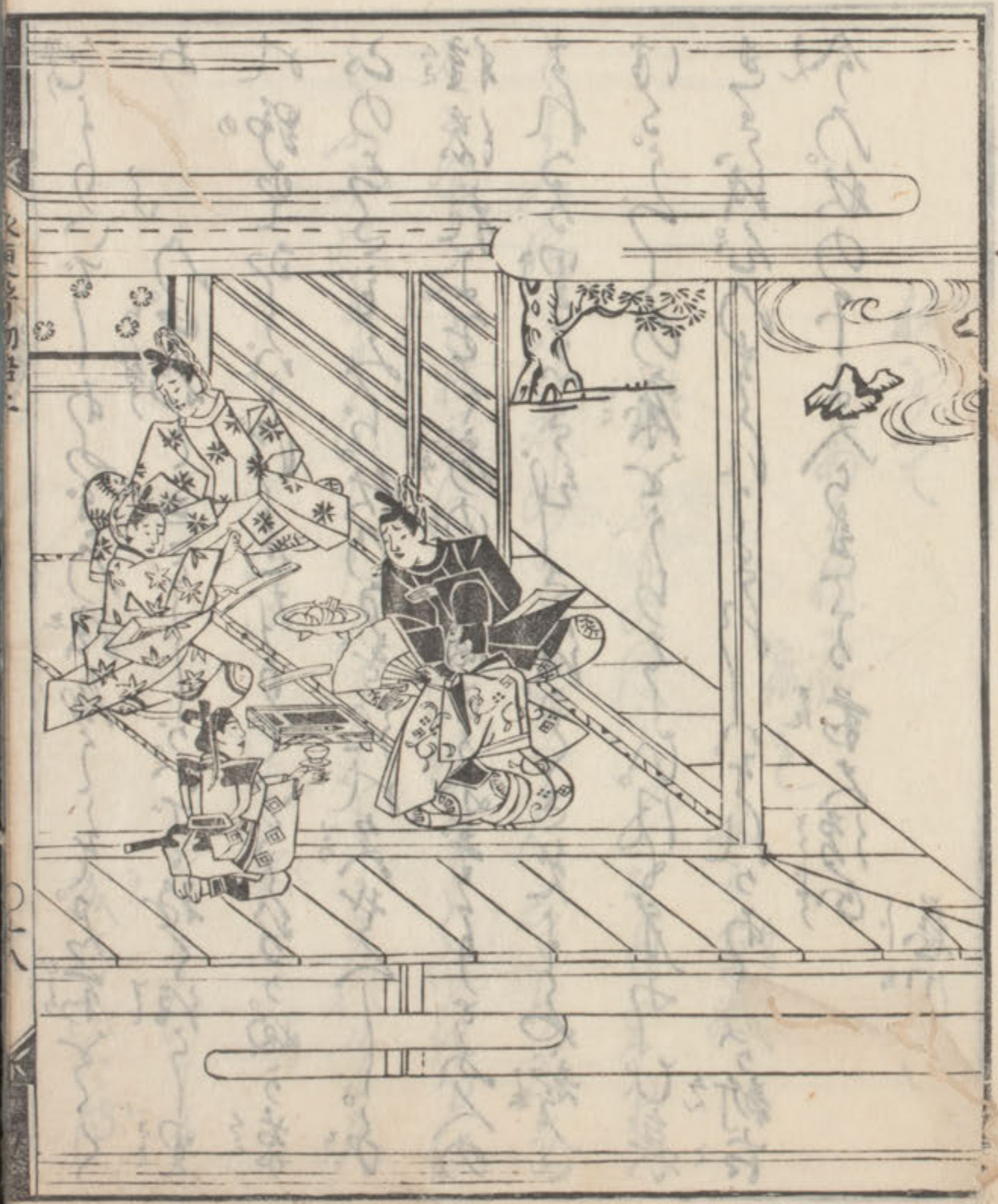
ちのり錦も
 中めしぬ
 そむる
 紅糸

せつな成死とまうんさくそ

お徳うらん海舟へぞ

よ海死うらし

海舟のうら



衣更着物語上

十一

たよりいぞいあむさの強ゆること。君おとく
 あり東の中ねとさくしーい。いぞねくゆる里
 ね野をひらけとがなりてつくさる。ぬう草
 ふのちこもみら。秋のさむねれ久世へ。ち
 種花よとく家のうぬさうぶぎうりさ人の
 まれつり里をさむい。はさくせんしむわさ
 はるづつこの麻とらとしい。はもや中じ集
 せえはびのまいたくさぬ。はそれうあぬ新古
 今乃秋の下は入らもさる。前久傍心
 意田の

秋とて

あられぬ

舞

ぬう草

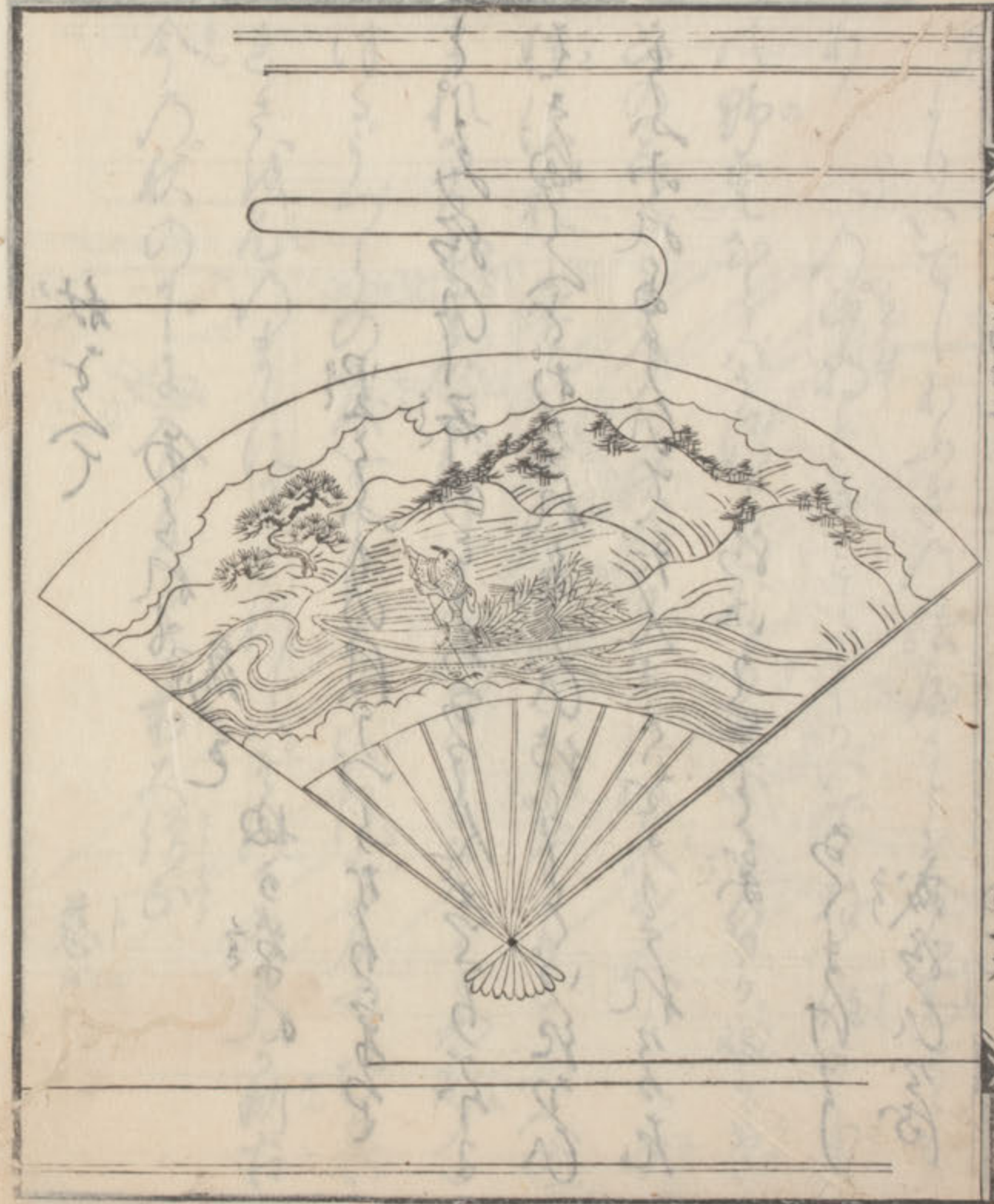
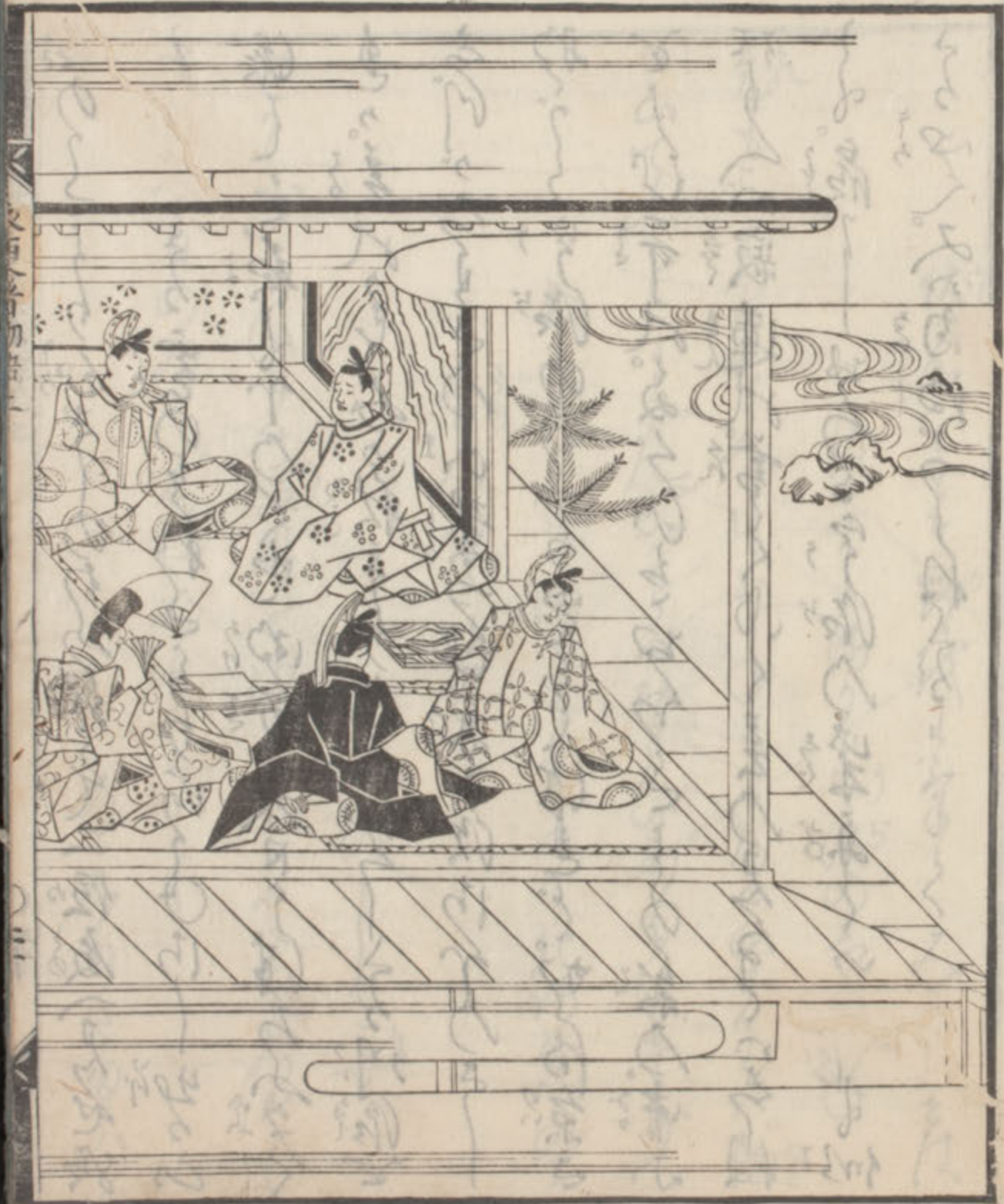
里とふりのはらづつなりやあやせ

と。みねのそらあるん。ささりがふは
 くらぬと。あられぬいゆると。つねやひ
 ちふれぬいして。たんぎくとたうられらた

秋のここと集

あたまけ

成ゆひ心



春の風物記

十一

花のこころいんぎのわかれをて二位殿へもせ給
 ともこころいんぎのわかれをて二位殿へもせ給
 候しと。衆も下りくせぬ方り。入日うはらふたぐ
 せり。まれりもみり秋きりり。まかろくろ川原と
 ちがぐまじさのま紫つじ。まき次はかろくろ
 ねづろ。うろのわかれをていしはまじど。かほ紫
 とよむ舞れぬぐいさかやろくろの紫の申小
 ねりつ。寂蓮れ書くもくまろくろくろくろくろ
 とも。衆り。せりろくろの紫まきくろくろくろくろ
 ころくろ。又の肉はくろくろくろくろ

伏見のいととて跡はまきくろくろくろくろ

くろくろくろくろくろくろくろくろくろ

是もこころいんぎのわかれをて二位殿へもせ給
 目ふてふとくまもん。まきくろくろくろくろくろ

あはれ目をまきくろくろくろくろくろくろ

音のあはれ

うろのくろくろ

せり。まれりもみり秋きりり。まかろくろ川原と
 ちがぐまじさのま紫つじ。まき次はかろくろ
 ねづろ。うろのわかれをていしはまじど。かほ紫
 とよむ舞れぬぐいさかやろくろの紫の申小
 ねりつ。寂蓮れ書くもくまろくろくろくろくろ

のくろくろくろ



さらり出されし秋の路をゆく初尾花もゆく
 わらり乃女部花うしゆめあくるもくはるた
 秋遠さす野のうらるる家あらしあさかかばな
 と笑しし鳥のうらりさけまげあひくさる糸
 花のいよもさねと吹せのおぶれあいのたふ
 ぎさし。あまのひりきとせりて草のまう
 れまあぐはよられあは乃らさゆりや秋も神と
 海草は。いよもそ野のあはぬ海うらびよたり
 りやまの。はらしきせまおくひのうらもれ
 の矢田の野の儀芽文はくやが波ぶあささそ

せよまーあ海あや秋の子種ふすてくしよま
 ころーるさぬなれむ公まうひよせんこあし。
 いばこのことよりゆめぞと。とりくことら路まひ
 かりあはれ乃法まうまうく短冊とたさるる

らまのうら

う海ぞとゆる

花のうら

あまの野

びーれあく

これとらんしそ右りさゆ好をまうりて

まあまうら





たよりつとめしつゝ。世にともいざや。あはれ涙のよき
は磯のまのぐえの時。色はぬまをわや。うえは
月のあざりつと。このおもきしに。あふおまこ
きゆく。あなを。こくえ。あま。あはれ。あま。あま。
あまのうんざく。

月影のありのうら。銭に抱きかか

千鳥あまな。あま。あま。あま。

とつと。あま。あま。あま。あま。あま。

はあ。あま。あま。あま。あま。あま。

後惠法師

伊凡。あま。あま。あま。あま。あま。

千鳥。あま。あま。あま。あま。あま。

とつと。あま。あま。あま。あま。あま。

お新。あま。あま。あま。あま。あま。

あま。あま。あま。あま。あま。あま。

あま。あま。あま。あま。あま。あま。

あま。あま。あま。あま。あま。あま。

あま。あま。あま。あま。あま。あま。

あま。あま。あま。あま。あま。あま。

あま。あま。あま。あま。あま。あま。

此後... 諸君... 幸甚... 幸甚...
 此後... 諸君... 幸甚... 幸甚...
 此後... 諸君... 幸甚... 幸甚...
 此後... 諸君... 幸甚... 幸甚...
 此後... 諸君... 幸甚... 幸甚...
 此後... 諸君... 幸甚... 幸甚...
 此後... 諸君... 幸甚... 幸甚...
 此後... 諸君... 幸甚... 幸甚...
 此後... 諸君... 幸甚... 幸甚...
 此後... 諸君... 幸甚... 幸甚...



此後... 諸君... 幸甚... 幸甚...

此後... 諸君... 幸甚... 幸甚...

110X
487
2